

宮 監 第 54 号 1  
平成 30 年 9 月 21 日

宮崎市大字折生迫財産区財産管理者  
宮崎市長 戸 敷 正 殿

宮崎市監査委員	梶 谷 欣 也
宮崎市監査委員	神 戸 洋一郎
宮崎市監査委員	星 山 健 一
宮崎市監査委員	近 藤 慶 子

平成 29 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計  
歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 29 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算について、次のとおり意見を提出します。

平成 29 年 度

宮崎市大字折生迫財産区特別会計  
歳入歳出決算審査意見書

宮崎市監査委員

# 目 次

## 大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
第5 審査意見	1
第6 決算の概要	
1 特別会計	
(1) 決算収支の状況	2
(2) 歳入	3
(3) 歳出	5
2 財産の状況	8

## 凡 例

- 1 文中及び表中の金額は、原則として円単位で算定し、千円未満を四捨五入して表示する。従って、金額の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 2 図中の金額は、原則として百万円未満を四捨五入して表示する。
- 3 文中及び表中の比率は、原則として円単位で算定し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示する。従って、比率の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 4 表中のポイントは、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - 「 0.0 」 …… 該当数値はあるが、単位未満のもの。
  - 「 - 」 …… 該当数値がないもの。
  - 「 △ 」 …… 負数を示し、増減を示すときは減を表す。

# 平成 29 年度 宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

## 第 1 審査の対象

平成 29 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算

## 第 2 審査の期間

平成 30 年 7 月 26 日から平成 30 年 9 月 21 日まで

## 第 3 審査の方法

平成 29 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算書及び決算書附属書類について、関係法令に準拠して作成されているかを確認し、それらの計数が正確であるかについて、各種帳簿、証書類及びその他の関係書類と照合した。

併せて、予算の執行状況及び決算の内容について、関係職員から説明を聴取するとともに、年度比較による分析を行うなどの方法により審査した。

## 第 4 審査の結果

平成 29 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算書及び決算書附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつその計数は正確であり、予算の執行及びこれに係る財務会計事務の処理はおおむね適正であると認めた。

## 第 5 審査意見

平成 29 年度は、財産区有の土地や墓地の適切な維持管理や財産管理台帳の整備に努めた。また、宮崎市と連携して平成 28 年度から取り組んでいる青島ビーチサイド活性化プロジェクトについては、青島二丁目の遊休地活用を図り観光拠点の整備・運営を行う民間事業者の公募を 4 月に実施し、優先交渉権者（グループの代表構成員である株式会社アラタナ並びにその他の構成員である青島プロジェクト株式会社（以下「株式会社アラタナグループ」という。））が 9 月 11 日に決定した。その後、基本協定締結に向けた覚書が 10 月 20 日に締結され、株式会社アラタナグループが事業予定者として、SPC（株式会社アラタナグループが出資者となる特別目的会社）の設立や事業計画の策定などに取り組んだ。

平成 29 年度の決算額は、歳入総額が 2,319 万 9 千円、歳出総額が 2,233 万 5 千円で、前年度に比べ歳入が 310 万 6 千円（11.8%）、歳出が 289 万 9 千円（11.5%）ともに減少している。主な要因は、平成 29 年度において宮崎県森林整備事業補助金の対象事業が減少したことによるものである。その結果、実質収支額は 86 万 3 千円となり、前年度に比べ 20 万 7 千円（19.3%）減少した。歳入の予算現額に対する収入率は 102.3%、調定額に対する収入率は 100.0%である。歳出の予算現額に対する執行率は 98.5%で、不用額 33 万 7 千円は前年度に比べ 39 万 3 千円（53.8%）減少している。

財産管理事務については、平成 28 年度から開始した分収林契約の相続人調査は、23 件の複数人契約分について不明者分を除く戸籍謄本等の取得が完了した。今後は、残りの契約者についての調査を計画していることから、引き続き、財産の適正な管理、把握に努められるとともに、財産管理台帳の整備を図られたい。

宮崎市大字折生迫財産区基金については、基金繰入金が歳入構成比率の 6 割以上を占めており、財産区特別会計の財政運営上重要な役割を果たしている。一方、平成 29 年度末の基金残高は 6,080 万円となり、直近 5 年間で 3,120 万円 (33.9%) 減少している。将来にわたって持続可能な財政運営を実現するため、財産の維持管理や必要となる財政負担について適切に把握・推計を行いつつ、計画的な事業の遂行と適正な予算執行に努めるとともに、青島ビーチサイド活性化プロジェクトについては、当初計画より遅れていることから、早期に基本協定締結のうえ、事業の着実な進展を図られたい。

## 第 6 決算の概要

### 1 特別会計

#### (1) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	29年度	28年度	増 減	増減率
歳 入 総 額 (A)	23,199	26,305	△ 3,106	△ 11.8
歳 出 総 額 (B)	22,335	25,235	△ 2,899	△ 11.5
歳入歳出差引額 (C) (A) - (B)	863	1,070	△ 207	△ 19.3
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	—
実 質 収 支 額 (E) (C) - (D)	863	1,070	△ 207	△ 19.3

- ・歳入総額は 2,319 万 9 千円 (前年度比 310 万 6 千円、11.8%減)、歳出総額は 2,233 万 5 千円 (同比 289 万 9 千円、11.5%減) であり、歳入、歳出ともに前年度に比べ減少している。
- ・歳入歳出差引額 (形式収支) 及び実質収支額は、ともに 86 万 3 千円 (同比 20 万 7 千円、19.3%減) となっている。

## (2) 歳入

歳入の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
29	22,672	23,199	23,199	0	0	102.3	100.0
28	25,964	26,305	26,305	0	0	101.3	100.0
増 減	△ 3,292	△ 3,106	△ 3,106	0	0	1.0	0.0
増減率	△ 12.7	△ 11.8	△ 11.8	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して102.3%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額2,319万9千円は、前年度に比べ310万6千円(11.8%)減少している。これは、財産収入が6万8千円増加したものの、使用料及び手数料が30万円、繰入金が10万円、繰越金が29万6千円、諸収入が247万9千円減少したことによるものである。

### 〈 款別の状況 〉

(款別収入済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

款	29年度	28年度	増減額	増減率	構成比率	
					29年度	28年度
5 使用料及び 手 数 料	5	305	△ 300	△ 98.3	0.0	1.2
10 財 産 収 入	6,806	6,738	68	1.0	29.3	25.6
18 繰 入 金	14,300	14,400	△ 100	△ 0.7	61.6	54.7
20 繰 越 金	1,070	1,366	△ 296	△ 21.6	4.6	5.2
25 諸 収 入	1,017	3,496	△ 2,479	△ 70.9	4.4	13.3
計	23,199	26,305	△ 3,106	△ 11.8	100.0	100.0

### 第5款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
29	5	5	5	0	0	106.4	100.0
28	5	305	305	0	0	6,106.4	100.0
増 減	0	△ 300	△ 300	0	0	△ 6,000.0	0.0
増減率	0.0	△ 98.3	△ 98.3	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して106.4%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額5千円は、前年度に比べ30万円(98.3%)減少している。これは、墓地の新規貸付がなかったため、墓地使用料が皆減(30万円)となったことによるものである。

## 第10款 財産収入

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
29	6,796	6,806	6,806	0	0	100.1	100.0
28	6,697	6,738	6,738	0	0	100.6	100.0
増 減	99	68	68	0	0	△ 0.5	0.0
増減率	1.5	1.0	1.0	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して100.1%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額680万6千円は、前年度に比べ6万8千円(1.0%)増加している。これは、財産運用収入において低金利により、利子が減少したものの、折生迫広場の使用実績が増えたことにより、土地貸付収入が増加したことによるものである。

## 第18款 繰入金

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
29	14,300	14,300	14,300	0	0	100.0	100.0
28	14,400	14,400	14,400	0	0	100.0	100.0
増 減	△ 100	△ 100	△ 100	0	0	0.0	0.0
増減率	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額及び調定額に対して、ともに100.0%である。
- ・収入済額1,430万円は、前年度に比べ10万円(0.7%)減少している。

## 第20款 繰越金

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
29	1,070	1,070	1,070	0	0	100.0	100.0
28	1,366	1,366	1,366	0	0	100.0	100.0
増 減	△ 296	△ 296	△ 296	0	0	0.0	0.0
増減率	△ 21.7	△ 21.6	△ 21.6	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額と調定額に対していずれも100.0%である。
- ・収入済額107万円は、前年度に比べ29万6千円(21.6%)減少している。

## 第25款 諸収入

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
29	501	1,017	1,017	0	0	203.0	100.0
28	3,496	3,496	3,496	0	0	100.0	100.0
増 減	△ 2,995	△ 2,479	△ 2,479	0	0	103.0	0.0
増減率	△ 85.7	△ 70.9	△ 70.9	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して203.0%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額101万7千円は、前年度に比べ247万9千円(70.9%)減少している。主な要因は、平成29年度において宮崎県森林整備事業補助金が減少したことによるものである。

## (3) 歳 出

歳出の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
29	22,672	22,335	337	98.5
28	25,964	25,235	729	97.2
増 減	△ 3,292	△ 2,899	△ 393	1.3
増減率	△ 12.7	△ 11.5	△ 53.8	—

- ・執行率は、予算現額に対して98.5%である。
- ・支出済額2,233万5千円は、前年度に比べ289万9千円(11.5%)減少している。これは、議会費が1万3千円、総務費が239万4千円、諸支出金が49万3千円減少したことによるものである。
- ・不用額33万7千円は、前年度に比べ39万3千円(53.8%)減少している。

## 〈 款別の状況 〉

(款別支出済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

款	29年度	28年度	増減額	増減率	構成比率	
					29年度	28年度
10 議 会 費	1,595	1,607	△ 13	△ 0.8	7.1	6.4
15 総 務 費	8,223	10,616	△ 2,394	△ 22.5	36.8	42.1
20 諸 支 出 金	12,518	13,011	△ 493	△ 3.8	56.0	51.6
25 予 備 費	0	0	0	—	0.0	0.0
計	22,335	25,235	△ 2,899	△ 11.5	100.0	100.0



## 第10款 議会費

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
29	1,652	1,595	57	96.5
28	1,661	1,607	54	96.8
増減	△ 9	△ 13	4	△ 0.3
増減率	△ 0.5	△ 0.8	7.0	—

- ・支出済額 159 万 5 千円は、前年度に比べ 1 万 3 千円 (0.8%) 減少している。これは、交際費が 2 千円増加したものの、旅費が 1 万 5 千円減少したことによるものである。
- ・不用額 5 万 7 千円は、各費目の執行残である。

## 第15款 総務費

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
29	8,360	8,223	137	98.4
28	11,192	10,616	576	94.9
増減	△ 2,832	△ 2,394	△ 438	3.5
増減率	△ 25.3	△ 22.5	△ 76.1	—

- ・支出済額 822 万 3 千円は、前年度に比べ 239 万 4 千円 (22.5%) 減少している。これは、墓地維持管理費が 51 万 6 千円増加したものの、一般管理費が 1 千円、財産管理費が 290 万 9 千円減少したことによるものである。主な要因は、平成 29 年度において財産区有林の造林事業の委託料が減少したことによるものである。
- ・不用額 13 万 7 千円は、各費目の執行残である。

## 第20款 諸支出金

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
29	12,518	12,518	0	100.0
28	13,011	13,011	0	100.0
増減	△ 493	△ 493	0	0.0
増減率	△ 3.8	△ 3.8	—	—

- ・支出済額 1,251 万 8 千円は、前年度に比べ 49 万 3 千円 (3.8%) 減少している。これは、宮崎市への繰出金 (負担すべき人件費相当分) が 7 千円増加したものの、基金への積立金が 50 万円減少したことによるものである。

## 第 25 款 予備費

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
29	142	0	142	0.0
28	100	0	100	0.0
増 減	42	0	42	0.0
増減率	42.0	—	42.0	—

- ・予算現額は 14 万 2 千円で、予備費の充用はなかった。

## 2 財産の状況

財産の状況は、次のとおりである。

区 分	単位	前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
1 土 地 等	m <sup>2</sup>	345,161.10	0.00	345,161.10
墓 地	m <sup>2</sup>	30,555.00	0.00	30,555.00
青島公園墓地 953区画				
白坂墓地 81区画				
五庵園墓地 5区画				
山 林	m <sup>2</sup>	16,110.91	0.00	16,110.91
※ 山林(立木の推定蓄積量)	m <sup>3</sup>	2,806.24	27.09	2,833.33
原 野	m <sup>2</sup>	252,681.15	0.00	252,681.15
※ 原野(立木の推定蓄積量)	m <sup>3</sup>	8,192.87	79.11	8,271.98
溜 め 池	m <sup>2</sup>	3,064.00	0.00	3,064.00
宅 地	m <sup>2</sup>	22,156.05	0.00	22,156.05
地 上 権 設 定 地	m <sup>2</sup>	6,276.00	0.00	6,276.00
そ の 他	m <sup>2</sup>	14,317.99	0.00	14,317.99
2 出 資 に よ る 権 利	千円	883	0	883
宮崎中央森林組合出資金	千円	883	0	883
3 基 金	千円	67,600	△ 6,800	60,800
折生迫財産区基金	千円	67,600	△ 6,800	60,800

※土地等の合計には、山林及び原野の立木の推定蓄積量を含まない。

- ・土地等（山林及び原野の立木の推定蓄積量を除く）及び出資による権利については、決算年度中において増減はなかった。
- ・基金の残高は6,080万円で、前年度末残高から680万円減少している。

